



◆コロナ影響下の社会を考えるpart7

コロナで失われた健康・経済を取り戻さなければなりません。テレビはオミクロン株を殊更取り上げていますが、大原則を思い出して下さい。目標は不可能なゼロコロナではなく、医療機関のひっ迫を防止し、死亡・重症例減少です。そのためのワクチン接種がされ、3回目の準備もされています。第5波が収束した11月中旬からの1カ月の全国のコロナ死亡者数は1日にほぼ2人以下。政府は類を見ない強力な鎖国(入国制限)を明確な戦略も無く行っています。経済損失で失われる命や子ども達の未来に無関心で良いのか？私は警鐘を鳴らし続けます。



◆今号の特集 一般質問・所管事務調査の報告

・少子化対策について

コロナ禍で少子化が一気に10年前倒しで進む見込みの中、どのような考えの元に施策を展開していくのか？安心して子どもを育てるため、保育士確保の新たな施策は？

・太陽光発電システム推進への対応について

太陽光発電を推進する閣議決定がされました。市民の生命と財産を守るのが行政・政治の役割です。太陽光発電のリスクも取り上げ、今後のエネルギー政策を考える第一歩とします。

・政策の推進状況について

これまで当会派が議会・予算要望で取り上げてきた案件の現状と今後を伺いました。

- ①人口減少時代における公共施設の統廃合の行方と対策は？
- ②税金(使用料)は大切な財源。適切な債権管理のための取組は？
- ③フレイル(介護)予防の推進は？

・児童虐待防止対策について

虐待はどの家庭にも起こり得るという前提の元に、法律に基づいた真に子どもの為になる画期的な虐待防止対策が必要です。今後も継続的に取り組む案件ですが、まずは現状を共有し、進めるための調査を行いました。

ご意見お寄せください！

代表：馬庭 充裕(まにわみつひろ) メール：swrmg866@ybb.ne.jp
住所：〒372-0006 伊勢崎市太田町1146-7
電話：090-7836-3135(電話取れない時は折り返し電話します)

—伊勢崎市議会議員— いせさき未来代表 1978年11月22日生まれ。43歳
群馬大学卒業。美原記念病院に勤務後、現職。理学療法士・呼吸療法認定士・障害福祉事業サービス管理者(共同生活援助)。市内太田町在住、家族は妻・娘・息子。
座右の銘：未来を予測する最善の方法は、自らそれを創りだすことである。

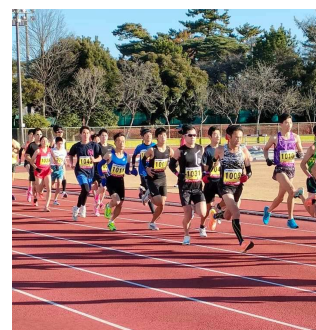
活動写真館(見聞きする全てが学び。規模問わず気軽にお呼び下さい)



左：三郷地区体育推進委員会歩け歩け大会(休憩所の運営をお手伝いしました)
中：図書館フェスティバル(伊勢崎市図書館は今年開館100周年です！)
右：市民アートフェスティバル(コロナでも芸術の灯は守りましょう)



左：三郷地区住民作品展(地域の皆さんの普段と異なる1面を拝見しました♪)
中：美原記念病院介護予防教室特別講座【コロナ禍の認知症ケア】
右：こども虐待防止対策イベント群馬(参加が早速、議会調査に活かしました)



左：伊勢崎シティマラソン(規模を縮小して2年振りに開催！)
中：太田町にここサロン(感染対策を行いながら、体操・ゲーム等行われていました)
右：伊勢崎駅前の【いせさき楽市】(公共空間を活用した取組です。定着して欲しいです)

①

まにわ充裕
一般質問①

今と同時に未来の事も考えた行政を

少子化対策について

質問①…
新規の子育て支援事業を検討すべきでは？
答弁①…
新型コロナウイルス感染症は子育て家庭へも多大な影響を与え、改めて子どもを産み育てる環境を整備する事の重要性を強く認識している。総合的かつ効果的な子育て支援の在り方について研究していきます。

質問②…
本市には1300人程度の潜在保育士が存在すると推定されています。保育士確保の取組として、みどり市では潜在保育士も含めた相談支援・研修を実施しており、愛知県豊田市では、保育の現場においてICTを活用し、事務負担の軽減が見られています。子育て支援のため、保育の充実が必要ですが、例示の内容も含め市長のご所見をお聞かせください。

答弁②…
潜在保育士に対する就職支援などを行う事は有用性のある人材の掘り起こしにつながる施策であると考えております。潜在保育士が再チャレンジするためのサポート体制を構築する取組みとして、**保育士による就職相談や公立保育所における保育体験実習などの就職支援を行う相談窓口の設置に向けた検討を現在進めております。**また、保育業務の負担軽減を図るためのICT化への取組ですが、保育所職員等で構成する庁内ワーキングチームを設置する準備を現在進めており、このワーキングチームにおいて、**ICT化による業務の省力化を含めて検討を行います。**

③

まにわ充裕
一般質問③

公共施設の統廃合・収納対策・フレイル予防の現状と今後は？

政策の推進状況について

質問①…
公共施設等総合管理計画と組織体制の見直しの現状と今後についてお聞かせください。

答弁①…
公共施設等総合管理計画の見直しは今年度末までに完了予定です。**来年度、総務部管財課に資産活用推進係を新設し、施設を統廃合する際には跡地の有効活用について効果的な検討が可能と考えております。**

質問②…
市税等の収納率の成果をお聞かせください。

答弁②…
平成30年4月に収納課を設置し、平成31年4月に伊勢崎市債権管理条例を施行致しました。成果として現年課税分及び滞納繰越分を合わせた市税等の収納率は、**H27年92.4%↓R2年96.1%**と毎年度向上しております。

質問③…
コロナ禍の自粛の影響を最小限にするため、積極的な対策が必要です。フレイル予防の推進の今後についてお聞かせください。

答弁③…
今後は市の広報誌や出前講座による啓発の他、ふれあいの居場所等でフレイル予防を実践して頂く活動の場を創設すると共に、講習会の開催や地域で活動して頂くフレイル予防推進リーダーの養成にも取り組む事でフレイル予防を推進してまいります。

②

まにわ充裕
一般質問②

市民の命を守るため、太陽光の利点だけではなく、リスクの考慮を

太陽光発電システム推進への対応について

質問①…
消防庁の資料に鳥の巣を起因としたパネル火災事例、浸水した無人家屋火災事例、消火作業時の感電事例が掲載されております。停電時の電気利用が太陽光発電の売りですが、災害時は大雨浸水も想定され、電気主任技術者等の対応が望まれます。将来の太陽光パネル廃棄費用に対する積立が十分かは定かでない、自治体は不法投棄リスクに備える事が重要です。公共施設に設置しているパネルの損壊により汚染が発生すれば、業務への影響が大きく、適正かつ計画的な管理が求められます。
太陽光発電の利点と同時にリスクも周知すべきですが、ご所見をお聞かせください。
長期的な管理や更新のためのガイドライン・条例策定について、市長のご所見をお聞かせください。

答弁①…
太陽光パネルは浸水・破損した場合でも光が当たれば発電する事があるため、接近や接触をすることにより感電する恐れがあり、大変危険であると認識しております。**今後、市のHPP及び市の広報誌等により、災害で浸水・破損した場合の危険性について、市民の皆様にも周知してまいります。**
設備の増加により、周辺環境への配慮、太陽光パネルの適切な管理、災害時の対応及び除草等の環境整備、太陽光パネルの廃棄等の課題が発生する恐れがあります。国・群馬県及び他市の内容を参考にするとともに、太陽光発電設備の安全性や安定的な電源の維持等の目的を含め、ガイドライン・条例策定の必要性について調査研究をしてまいります。

④

まにわ充裕
所管事務調査

子どもファーストの実効性のある対策を

児童虐待防止対策について

質問①…
①児童相談所の虐待対応件数は30年間、一度も減っていない。②子どもは自身が持つ権利を知らず、それを教える義務が学校にも児相にも法律上無い。③虐待対応ダイヤルへの児童本人からの相談はたったの1%。などのように、日本の児童虐待防止対策は上手くいっていません。
県条例制定を受けて、今後本市も抜本的に児童虐待防止策の見直しを進めるべきですが、ご所見をお伺いいたします。
本市の児童虐待相談件数及び児童本人からの相談があったのかどうかお聞かせください。相談窓口のカードを児童・生徒に配布していると思いますが、併せてどのような指導を行っているのかお聞かせください。
法律に基づき、児童と保護者の教育・啓発に努めなければなりません。その現状と今後についてお聞かせください。

答弁①…
県・関係機関と更に連携強化し、児童虐待防止対策に取り組みます。
虐待に関する相談はR2年度129件です。子ども本人からの相談件数はなく、色んなケースがあり、子ども自身が虐待を意識・認識しているかに疑問があり、心配しています。文科省の資料を活用し、年度当初に研修している。通告・相談・連絡を徹底する。
虐待相談カード配布時に相談できる旨を伝えていた。今後も支援の充実を図る。
子どもが自ら教職員に相談するケースなど、迅速に対応しています。今後、児童虐待防止に関する講演会等の検討中につきお返答。